

## 「谷文晁生誕250年記念企画展の御案内」

欽啓 時下初夏の砌、皆様方には益々ご清祥のことと 拝察申し上げます。

さて、この度本邦初の谷文晁の作品の 企画展覧会がサントリー美術館（東京ミッドタウン、港区六本木）にて開催されることになりました。（7月3日より8月25日まで）

当山所蔵の白河市指定重要文化財「仏涅槃図」（谷文晁筆）に出展の依頼があり、役員会を開催して検討の結果、多くの皆様に御高覧戴くことに致しました。

当山所蔵の涅槃図は210年程前の江戸時代に大統寺住職の活山和尚が白河藩主松平定信公のお抱え絵師であった谷文晁師に依頼し描いて頂いたものです。当山の大檀那の醸造問屋川瀬家、川崎家を主に約60名程の檀信徒より当時の金で12両程の勤募を得て製作されたものです。平成17年に白河市指定重要文化財に認定され、4年前に市の補助金に加えて当山および白河市の企業、市民の方々からの寄付をいただき修復を行っております。補修に当たりましては原画に手を入れることは避け、約1年程の時間をかけて軸物を完全に分解して本表装に仕上げしております。原画の絵の具の剥離を止めることを主に修復し剥離を抑えるために太巻きに変更しております。原画は幅約120cm高さ約160cmで軸物としての長さは約260cm程にもなる大作です。通常は展示期間の半分の4週間で入れ替えを行いますが、この「涅槃



図」は会期中通して展示することに致しました。ご多用中のところ大変恐縮に存じますが、御高覧戴きますれば幸甚に存じます。

時節柄、御自愛の程御願い申し上げます。

頓首啓白

大統寺小住 渡邊宗徹 九拝

当山所蔵「仏涅槃図」

（背景を大きくとった構図で、絵画としても鑑賞出来る画となっております。鎌倉時代の「八相涅槃図」を参考にして描かれております。）